

教育研究業績書

令和 5 年 5 月 1 日
氏名 佐貫 巧

研究分野	研究内容のキーワード
絵画、造形表現、美術教育	コンテンポラリーアートにおける絵画、幼児美術教育

教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 1. 保育所・施設及び幼稚園における実習巡回指導	平成 25 年～令和 4 年	実習先職員と連携を取りながら学生の実習巡回指導を行い、学生個人への助言および指導を行った。
2. 作成した教科書、教材		
3. 教育上の能力に関する大学等の評価	令和 4 年	学生アンケートによる評価にて学科の講義で 1 位になり、教員相互評価でも 1 位になった。FD 委員会主催の模範授業に選ばれ、公開授業を実施した。
4. 実務の経験を有する者についての特記事項 ① 青森県高教研美術工芸部会研究大会 講演 ② 十和田地区保育研究会 講演・ワークショップ ③ 第 64 回 東北造形教育研究大会 青森大会 公開保育・講演 ④ 全国認定こども園協会 青森県支部 保育士等キャリアアップ研修会【幼児教育分野指定講座】講演・ワークショップ講師	平成 28 年 8 月 18 日 平成 30 年 9 月 19 日 令和元年 7 月 31 日 令和元年 12 月 18 日	「豊かな情操を育むために」というテーマで、高校の美術教員向けに「現代芸術教室『アートイズ』の活動について」講演した。 十和田市民交流プラザトワレにて、現場で働く保育者向けに「しろ☆しろ☆shiro☆いろんな白を知ろう♪」という造形ワークショップを実施。 八戸学院幼稚園の年長さんで共に公開保育を実施。現場で働く保育者向けに『あそぶ、こども、あーと～創造力を引き出す教育～』～だいすきな八戸を見る・学ぶ・知る・あそぶ～というテーマで講演をした。 八戸プラザホテルにて、現場で働く保育者 50 名を対象に『ワクワク装置～創造力を引き出す環境構成～』というテーマで実施。

⑤全国認定こども園協会 青森県支部 保育士等キャリアアップ研修会 【幼児教育分野指定講座】講演・ワークショップ講師	令和2年8月6日	八戸プラザホテルにて、現場で働く保育者50名を対象に『ひらめきと感動が可能性を引き出す保育の原動力!~自分の中にある表現する力を発見しよう~』というテーマで実施。
⑥全国認定こども園協会 青森県支部 保育士等キャリアアップ研修会 【幼児教育分野指定講座】講演・ワークショップ講師	令和3年10月27日	HOC コネクトホールにて、現場で働く保育者50名を対象に『イイネ!がたくさん☆アートの世界~自分の表現力を発見しよう~』
⑦全国認定こども園協会 青森県支部 保育士等キャリアアップ研修会 【幼児教育分野指定講座】講演・ワークショップ講師	令和4年7月5日	HOC コネクトホールにて、現場で働く保育者50名を対象に『アートの世界で自分の魅力を再発見』というテーマで実施。
⑧八戸保育連合会 北部地区研修会 講演・ワークショップ講師	令和4年11月17日	八戸プラザホテルにて、現場で働く保育者50名を対象に『アートイズと学ぶ! 育てるアート~心の温度によりそう教育~』というテーマで実施。

5. その他		
--------	--	--

職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許	平成21年3月31日 平成21年3月31日	中学校教諭専修免許状(美術) 高等学校教諭専修免許状(美術)
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項 ① 特別講師（絵画指導）	平成23年4月～平成25年3月	茨城県取手市立小学校文化交流事業 特別講師として月に2回、絵画指導を行った。対象は、取手市の小学1年生～6年生。時間は3時間程度。
②「油絵具（ウィンザー&ニュートン）講座」講習会インストラクター	平成24年4月～現在	世界シェアナンバー1のイギリスの絵具メーカー、ウィンザー&ニュートンの油絵具（アーティストオイルカラー）の特別講師として任命される。世界で初めての試みとなる。講義内容の作成を手がけ、日本の予備校、大学、絵画教室をまわり講習会を開き、絵具の認知・普及に貢献。

③「アクリル絵具（リキテックス）講座」講習会インストラクター	平成 24 年 4 月 ～現在	アメリカの絵具メーカー、リキテックスの水彩アクリル絵具の特別講師として講習会を開き、絵具の認知・普及に貢献。
④ 八戸学院短期大学附属 幼稚園造形教室講師	平成 25 年 4 月 ～現在	年 9 回開講／年中児童 70 名を対象に造形表現を指導。「シャボン玉で絵を描こう」「土で絵具をつくろう」など様々な素材についての理解を深めると同時に、子どもの身近なもので絵具を作ること素材の安全性や自然に対するの関心・興味を持ち色彩感覚を養えるようなカリキュラム作りに努めた。
⑤現代芸術教室「アーティスト」講師	平成 26 年 5 月 ～現在	画家・デザイナー・歌手・幼稚園教諭・保育士などで構成されたアート教室。現代アートの視点で「ものごと」を捉え、『想像力・創造力』を養い何かを表現し作り出す「取り組み」や「過程」を大事にしている。2015 年から八戸市美術館の教育普及プログラムに起用され、「出張アーティスト」として様々なイベントに参加。また、十和田市現代美術館と共にプログラムを展開するなど地域の中でアートに触れる場を作っている。
4. その他		
①「トーキョーワンダーウォール公募 2006」 入選	平成 18 年 （東京都現代美術館）	コンテンポラリー・アート・シーンにおける新人発掘のための公募事業として実地され、新人アーティストに作品発表の機会を提供。『DAN-SHAKU』が入選。東京都現代美術館に入選作品展が開催された。
②第 10 回「大黒屋現代アート公募展」入選	平成 27 年 （板室温泉大黒屋/那須塩原/栃木/）	大黒屋現代アート公募展は 2006 年より世界を目指す新進アーティストの発掘を目指し毎年開催。『溶解 - 円環するイメージ -』が入選。板室温泉大黒屋にて入選作品展が開催された。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 2 …				
(学術論文) ①表現（美術系）に関わる教員の資質向上のための実践報告 -現代芸術教室「アートイズ」の一考察-	共 （飯田 竜太）	平成 26 年 10 月	八戸学院短期大学 紀要第 39 巻	保育者養成校の表現（美術系）の科目に携わる教員は、必ずしも保育所や幼稚園などで保育業務に従事していた経験をもつ教員が担当するとは限らない。しかし、子どもの気持ちや発達段階、造形における基礎的な知識を、現場での実践を通じて学ぶ事は多い。保育者養成校の美術室を利用し、子どもから大人までの幅広い層の対象者を比較できる造形制作の機会を設定し、教員の質の向上を計る実践報告である。
②造形表現を考える場としての作品展の実践と考察	共 （立崎 博則・木戸 永二）	平成 31 年 3 月	青森中央短期大学 紀要	「苦手意識」「作品第一主義から児童中心主義」「めざす造形とさぐる造形」「保育所保育指針・幼稚園教育要領を踏まえた指導」「鑑賞教育」など幼児の造形表現について様々な課題を作品展というアプローチで研究したものである。
③是川縄文アートプロジェクト 2020～アートプロジェクトを通じた地域活性化～	共 （馬渡 龍・工藤 大地）	令和 3 年 3 月	八戸工業高等専門学校 紀要第 55 号	是川団地中央公園内にある経年劣化したコンクリート壁を再生し、壁面に新たに是川縄文をモチーフとした壁画を描くアートプロジェクトである。

④是川縄文アートプロジェクト 2020～アートプロジェクトを通じた地域活性化～	共 (馬渡龍・工藤大地)	令和3年7月	月刊考古学ジャーナル	是川団地中央公園内にある経年劣化したコンクリート壁を再生し、壁面に新たに是川縄文をモチーフとした壁画を描くアートプロジェクトである。
⑤「アート及び新美術館を軸とした中心市街地活性化に関する研究」	共 (田中哲・馬渡龍)	令和4年1月	八戸市都市研究検討会 第13弾	「アートのまちづくり」の推進について、中心市街地文化施設との連携や中心商店街等の関係諸団体との結びつき、学生に向けた取組などのあり方をテーマとして研究。
(その他)				
①口頭発表 子どもと地域をつなぐ幼児造形の可能性をさぐる	共 (松橋 恵美・立崎博則)	令和元年8月	幼児教育実践学会 静岡大会	幼児教育の役割が社会の中で注目されつつある今、地域と共に地域全体の教育の質を底上げする事が大事と捉える。その中で、造形活動を通じて何が出来るのか？3つの視点を持って可能性を探る。
②口頭発表 子どものための芸術教室「アートイズ」が目指すもの	単	令和4年9月	美術による学び研究会 in 北海道	代表をつとめる現代芸術教室「アートイズ」は、青森県八戸市を拠点としたアート教室。現代アートの視点で「ものごと」を捉え、『想像力・創造力』を養い何かを表現し作り出す「取り組み」や「過程」を大事にしている。これまでの活動を発表。
③ハチノヘブルー2020	単	令和2年	八戸市美術館/青森	市民から、それぞれの『ハチノヘブルー』をイメージする写真(風景や物など様々)を募り、リアルタイムでレイアウトを更新していく作品です。数日の期間中、100点以上におよぶ写真が集まり、多くの参加者の「希望」や「癒し」の意味が込められている青色が会場を彩った。

④是川縄文アートプロジェクト 2020	共 (馬渡龍・工藤大地)	令和 2 年	八戸市/青森	是川団地中央公園内にある経年劣化したコンクリート壁を再生し、壁面に新たに是川縄文をモチーフとした壁画を描くアートプロジェクトである。企画運営、アーティストとして参加。
⑤是川縄文アートプロジェクト 2021	共 (馬渡龍・工藤大地)	令和 3 年	八戸市/青森	是川団地中央公園内にある経年劣化したコンクリート壁を再生し、壁面に新たに是川縄文をモチーフとした壁画を描くアートプロジェクトである。企画運営、アーティストとして参加。
⑥是川縄文アートプロジェクト 2022	共 (馬渡龍・工藤大地)	令和 4 年	八戸市/青森	是川団地中央公園内にある経年劣化したコンクリート壁を再生し、壁面に新たに是川縄文をモチーフとした壁画を描くアートプロジェクトである。企画運営、アーティストとして参加。
⑦旧三春屋おめかしプロジェクト 2022	共 (高砂充希子)	令和 4 年	八戸市/青森	2022 年に惜しまれつつ閉店した百貨店をアートの力で再び再生するアートプロジェクト。企画運営、アーティストとして参加。
⑧グループ展 ふなばし現代アート展 2019「アラカルト」	単	平成元年 8 月	船橋市/千葉	2年に1度開催する若手作家によるグループ展。油彩、日本画、陶芸、映像など様々な表現方法で作品を生み出すアーティストによる展覧会。
⑨グループ展 ギャラリー十夢 12 周年記念展	単	平成 2 年 1 月	ギャラリー十夢/静岡市/静岡	静岡市にある『ギャラリー十夢』にて開催のグループ展にアーティストとして参加。
⑩グループ展 ふなばし現代アート展 2021「アラカルト」	単	平成 3 年 8 月	船橋市/千葉	2年に1度開催する若手作家によるグループ展。油彩、日本画、陶芸、映像など様々な表現方法で作品を生み出すアーティストによる展覧会。

⑪多文化都市 八戸推進事業 補助金	共 (飯田 竜 太)	平成 27 年 2 月	八戸市	現代アート展「インシデンツ 2015」を開催。気鋭のアーティ ストを招聘し、八戸では数少な い現代アートの展覧会として 「多くのアーティストが作り出 した空間の中に存在する作品と 対峙することで場所・記録・経 験など多くの関係を発見し、体 感してもらうことで何かを見つ ける” チャンス ” になる」こと を目指した展覧会。運営代表、 アーティストとして参加。
⑫多文化都市 八戸推進事業 補助金	共 (飯田 竜 太)	平成 28 年 2 月	八戸市	現代アート展「インシデンツ 2016」を開催。気鋭のアーティ ストを招聘し、八戸では数少な い現代アートの展覧会として 「多くのアーティストが作り出 した空間の中に存在する作品と 対峙することで場所・記録・経 験など多くの関係を発見し、体 感してもらうことで何かを見つ ける” チャンス ” になる」こと を目指した展覧会。運営代表、 アーティストとして参加。
⑬学生まちづ くり助成金	単	平成 30 年 9 月	八戸市	『八戸マテリアル・アプローチ ～こども、あそぶ、あーと～』 をテーマに八戸圏域の隠れた資 源を探し出し、子どもの創作活 動の材料として活用するという もの。文化芸術活動による魅力 発信に繋げることで、子どもの 感性や可能性を最大限に引き出 し、アートを通した創造的な表 現の一助となることを目的とし た。佐貫ゼミナールでの参加。

⑭みちのく・ ふるさと貢献 基金	単	令和元年9月	みちのく銀行	『八戸マテリアル・アプローチ 〜こども、あそぶ、あーと〜』 をテーマに八戸圏域の隠れた資 源を探し出し、子どもの創作活 動の材料として活用するという もの。文化芸術活動による魅力 発信に繋げることで、子どもの 感性や可能性を最大限に引き出 し、アートを通じた創造的な表 現の一助となることを目的とし た。現代芸術教室「アートイズ」 として採択。
------------------------	---	--------	--------	---